

ラスベガス旅行記2014



平成26年7月21日~27日

夏休み恒例の家族旅行、今年はどこにしようかと、春先から色々考えていました。

子ども達もそれぞれ大学・高校に進学し、長男良樹も次男里杢ともに、今年の家族旅行は「パス」の一声で、今回は夫婦水入らずで行くことになり、今までは「子どもが遊べる場所」を念頭に、ハワイ、グアム、サイパンなど南の島が中心でしたが、今回は何も考えず「自分達の行きたいところに行こう」ということで二人で話し合った結果、前々から「もう一度行きたい」と思っていた、新婚旅行（ロサンゼルス&ラスベガス）のときに行った「ラスベガス」に決定！約20年ぶりのベガス、どんな風に進化しているのか見当がつかず、いつもよりも増して十分に下調べをし旅行に臨みました！

日程は、7月21日～27日までの7日間、旅行の手配は国内最大手の旅行会社JTBにお願いしました。

まずは、ラスベガスを簡単に紹介します。

眠らない街「不夜城」といわれているラスベガスは、アメリカネバダ州にある人口2万人程度の砂漠の中にあるちっぽけな街でしたが、戦後フーバーダム建設に伴い、多くの作業員がやってきてカジノが合法化され、マフィアの資金源としてダウンタウンにホテルが次々と建設され、長い間マフィアが仕切っていました。1960年代に入り、国の取締が厳しくなりマフィアが次々とホテルの経営権を手放し、1990年代に入るとベガスの中心はダウンタウン地区からストリップ地区に移り、巨大テーマホテルゲームでストリップ地区に次々と高級ホテルが建設されました。

2000年以降は高級ショッピングモール、カリスマシェフなどによる高級レストラン、世界一とも言われるショービジネス、ナイトクラブ、高層コンドミニウムなどで、超高級総合アミューズメントシティとして成長し、今では周辺都市も含めると人口200万人、年間訪れる観光客は何と4000万人、ハワイの年間観光客が800万人ということで、何とあの世界の楽園ハワイの5倍の観光客が訪れるメカリゾート地に成長（ちなみに世界一観光客が多い都市はフランスで年間8000万人だそうです）、しかしながら現在、日本から飛行機の直行便が無くなり日本人観光客は激減、今回旅行中も日本人に会ったのは一週間で10人弱、どこに行っても日本語標記のものは全くなく、最近では日本人にはあまり縁のない観光地になっているようです(--;)

気候は、夏場は気温40℃以上あがる日も多く、今回も最高気温43℃の日もありましたが湿度が100%程度ということで、日本の夏より過酷しやしいかもしれません。しかし冬場は、気温が0℃になる日もあり典型的な砂漠地帯の気候です。治安は、アメリカでも最も安全な街といわれています。

観光客にとってラスベガスは大きく分けると、近代的な巨大ホテルが建ち並ぶストリップ地区と、昔ながらの面影を残すダウンタウン地区のふたつに分かれます。ストリップは「服を脱ぐ」という意味もありますが、ラスベガスのストリップの由来は「細長い帯状のもの」とか「まな板」というように長びよいものを差すそうで、約7kmに及ぶストリップ沿いには、カジノ客を呼び込むために様々な無料アトラクションを駆使した巨大高級テーマホテルや高級ショッピングモールが隙間なく立ち並んでいます。

普通、どこのホテルも宿泊客以外はホテルに入ることは出来ませんが、ここラスベガスでは全く逆の発想、一人でも多くの客をカジノに取り込むため様々なアトラクションやテーマをモチーフにどのホテルも出入り自由となっています。ホテル巡りをするだけでも、世界旅行を味わえるとさえ言われています。また、ホテルの客室には冷蔵庫はありません。これは、部屋にずっと滞在されるとカジノに行かなくなるので、出来る限り部屋で過ごす時間を短くさせるために、ベガスのホテルはどこも冷蔵庫を置いていないそうです。また、驚くことに、どのホテルも客室に行くにはカジノを通らないと部屋に行けない造りになっています。何と、空港のロビーにもスロットマシンがたくさんあります。

このようにラスベガスニャンブルというイメージがかなり強いのですが、この旅行記を読んでもらうとニャンブルだけではなく、素晴らしい観光地だということが分かります！



福岡空港まで、親父に送ってもらい16:25 ラスベガスに向け飛び立ちました。

ベガスまで直行便がないため、福岡⇒ソウル(インチョン空港)⇒ラスベガス空港)経由、

ソウルからラスベガスまでの飛行時間は約12時間、窮屈な機内で、長〜い一日になりそうです(T.T)



ラスベガス『マッキヤラン国際空港』に到着、時計の針は、17:00を刺しています。

日本との時差は、何とマイナス16時間、日本時間にプラス8時間して1日戻る計算です。

空港では、機内に預けた荷物が中々出てこず、ヤキモキしましたが、待つこと約30分、無事に2個のスーツケースを手に出口へ向かうと、現地のJTBの添乗員が迎えに来ていました。



空港からホテルまでは車で約15分、車内で添乗員の話の聞きましたが、ラスベガスは年間で15日程度しか雨が降らないそうで、気温は夏場は40度以上、湿度は10%、完全な砂漠の気候だそうで、ここ数年は日本人観光客はかなり少ないとのことでした。

宿泊先の、『モンテカルロカジノ&リゾートホテル』に到着！地中海沿岸のモナコをモチーフにして建てられたヨーロッパ調の高級ホテルです！



モンテカルロホテルは、ラスベガスストリップ通りの南側、新フォーコーナーに位置しており、周りには『ニューヨーク・ニューヨーク』や『MGM』、『エクスカリバー』などユニークなホテル、ワールドオブコカコーラやM&M'sワールドなど人気のテーマショップもあり賑やかな通りに位置しています。室内は、派手なラスベガスのホテルの中でも至ってシンプル、キングサイズのベッドが2つ、二人で使うには広すぎる空間でした。



今夜は、ホテル周辺を散策し、前から一度行ってみたいと思っていたHOOTERS（フーターズ）で食事の予定、ホテルを出ると目の前に、ハードロックカフェ・ABCストア、ROSSなどの派手なネオンがお出迎え、胸が高鳴ります。



お隣の『ホテル・ニューヨークニューヨーク』その名のとおり、ニューヨークをモチーフにしたホテルで、エンパイアステートビルを模造した48階建のメイン棟を中心にマンハッタンに実在する有名な高層ビルをそのままレプリカにしたホテル、実物の2分の1サイズの自由の女神像、グラランドセントラル駅、ホテル前にはブルックリン橋まで再現されていて、見るだけでもNYにきた気分になります！



フーターズは、白いタンクトップにオレンジのホットパンツ姿のセクシーなウェイトレスとスパイシーなチキンウイングが人気のフロリダ生まれのレストランでアメリカを中心に450以上の店舗を展開し、日本でも東京・大阪にも出店している人気レストラン、ニコベルガスではカジノホテル経営にも参入していて、フーターズホテルのカジノ内にレストランがあります。



フーターズの名前の由来は、フーター（ふくろう）で、セクシー姿のウェイトレスを男性客がふくろうの目のようにキョロキョロさせることから名付けられたそうで、ニコベルガスではブラックジャックやルーレットなどのギャンブルの相手もフーターズガールがセクシー姿で相手をしてくれます。

名物チキンウイングとバーコンチーズバーガーを注文しましたが、ボリューム満点(^_^;)



二日目です。今日は1時からカジノレッスン、続いてプレミアムアウトレットノースへのショッピング、どちらもJTBの無料オプションツアーに参加です。

朝食は、ホテル内のフードコートでイタリアンファーストフード店『Sbarro』でチーズ入りのロールピザとシーザーサラダで軽く済ませました。



カジノレッスンは、ストリップの中心フラミンゴホテルであります。地理感なく歩いていけると簡単に考えていたら、一時間以上歩いても辿り着きません。途中、超高級ショッピングモール「クリスタルズ」で休憩、結局ここからタクシーでフラミンゴホテルへ(^_^;)

クリスタルズは、北米最大級のルイ・ヴィトンをはじめたくさんの高級ブランド店が入っていて水晶を装した建物は一際目を引きます。



カジノレッスンは、ルーレットとブラックジャック、実際に本物のディーラーが本物のチップを使ってレッスンしてくれます。あすかは、スロットマシン以外のギャンブルは初めてだったので、約一時間のレッスンをとても楽しんでいました。

通常、カジノでは写真やビデオ撮影は固く禁止されていますが、今回特別に写真撮影を許可してくれました。



続いて、ベガスのショッピングランキング1位のプレミアムアウトレットノースへ専用車で送ってもらいました。2時間半ほどショッピング時間ありましたが、帰りはダウントウンに寄りたかったので、帰りの送迎は断り約4時間近くショッピングを楽しみました。ベガスには、プレミアムアウトレットが2店舗あります。ノース(北)とサウス(南)、どちらもストリップから離れているため、車を使わなければ行けません。



プレミアノースには、約150店舗のショップが入っています。特に人気なのが『COACH』で掘り出し物は日本の半額程度で買えます。

ここでは、『Timberland』でボロシャツやTシャツ、『Calvin Klein』でジーンズやシャツ、そして里杓にCOACHのバックと財布を買ってあげました(^_^;)

このフードコートで食べた、中華プレートは今回の旅行で最も美味しかった食事でした。



外も暗くなり、ノースからタクシーで今回の旅行で最も楽しみにしていたダウンタウン『フリーモントストリート』にやってきました。

ダウンタウンは大小さまざまなカジノやホテルが所狭しと並んでいて、古き良きベガスの象徴であるネオンの洪水のような光景は、夜間でもストロボ無しで写真が撮れることで有名です。

ストリップに比べ、カジノのレートも低く、食事なども安価で、庶民的ムードが漂っています！



フリーモントストリートは、ストリップから北へ約7km。ダウンタウンの中心に位置し、90年代にストリップ地区で始まった大型テーマホテルの建設ラッシュでお客がいなくなったダウンタウン地区が一致団結し、7000万ドル(約70億円)という巨費を投じて1995年に完成させたハイテクアーケード街で、毎晩歩行者の頭上で光と音のアトラクションがくり広げられます(^_^)



2004年さらに17億円をかけてLED電球120万個、220台のスピーカーを設置しグレードアップされ、毎晩日没後1時間おきに長さ約450mのアーケード天井に映し出される毎回違ったカラフルな映像や音楽の演出は圧巻でした♪

庶民的なカジノでスロットやルーレットをしたり、アーケードでお土産を買ったりしダウンタウンを5時間近く楽しみ、帰りもタクシーでホテルに戻りました(スロットであすかが勝ちました！)



ダウンタウンで遊び過ぎた?ため、ホテルに帰りついたのは午前2時前、ここから夕食(ー;)
流石に歩く元気もなく、ホテル前の24時間営業のファミレス『デニーズ』でチーズバーガー・ポテト・パンケーキのアメリカンスタイルの食事を済ませ長い一日が終わりました。



3日目は、昨夜の夜遊びが過ぎたのかAM11時近くまで寝ていました。まずはベガスの食事といえばコレ BUFFET (バフェ) でグランチを取ることにしました。バフェは、日本でいえばバイキングスタイルの食事で、バフェの運営でカジノの収益が左右されるといわれるほど、各ホテルが力を入れているようで、ベガスのバフェは規模も内容も世界屈指のレベルだそうです。



どこのホテルのバフェに行こうか迷った結果、結局、ガイドブックやネットの口コミでも評判の良かった宿泊ホテルのモンテカルロのバフェにしました。

ホテルのカジノ会員カードを作っておけば、バフェの料金が10%offになると旅行会社の人に聞いていたためカードを提示すると、一人1600円くらいでした。ベガスは食事料金が全般的に高くてハンバーガー(特大、ポテト付ですが)でも1500円近くかかるのでバフェはお得かも(^.^)



バフェは、何度おかわりしてもOK、ソフトドリンクも飲み放題、時間無制限、時間帯や曜日によって料金が異なります。パンやタコス、焼きそばやピラフ、ハム、ソーセージ、ハンバーグ、ローストビーフ、ピザにポテト、卵料理、スープ、サラダ、ケーキからアイスまでありとあらゆる料理があります。

一発目に食べたローストビーフは噂どおりの美味でしたがお腹に溜まりました。あまりの種類の多さに困惑も味も雰囲気も最高でした◎



食後、ホテル内のプールでしばし目の保養？
流れるプールや波のプール、ビーチバレーコート
もありました。

今回、時間の関係で泳ぎませんでしたが、プー
ルでは、ほとんどの人が読書や日光浴など、まっ
たりとバカンスを楽しんでいました。

プールを一通り見渡し、今日は今回の旅行の一
番の楽しみ、シルク・ドゥ・ソレイユのショーを
見るためホテル『ベラッジオ』へ無料トラム（モ
ノレール）で行きました。



宿泊ホテルから直行便トラムで約5分、ついにや
ってきました『ベラッジオ』。何が凄いかといえば、
ベガスの無料ショーの中でも圧倒的な人気を誇る
『噴水ショー』が、ホテル前のシンボル、イタリア
のコモ湖をイメージした広大な湖で約30分おきに
開催されます。その広さはなんと5万平方メートル
。客室は約4000室、大理石をふんだんに使用した超
豪華ホテルの総工費は推定1500億円といわれ、当
時世界で一番お金のかかったホテルだそうです。



ベラッジオ内の太陽光が入るように屋根がガラ
ス張りになった室内温室広場『コンサーバトリー・エ
タニカル・ガーデンズ』です。色とりどりのお花
がびっしり植えられていて、遊び心たっぷりの
建物や、植物で造作された動物や、鳥小屋なども
あって、ここを通る度に癒されます。



ショーの開演時間は午後7時30分、しばらく時
間があるので、ホテル周辺のフォーコーナー地区
を散策です。

ベラッジオの正面玄関を出ると、ベガスの圧倒
的シンボルの一つ、フランスのパリをモチーフに
した『パリスホテル』が目の前にお出迎え(๖_๖)
実物の1/2サイズのエッフェル塔、凱旋門、ル
ーヴル美術館まで再現されていて、まさに世界旅
行です(^^)



続いて、お隣のプラネットハリウッドホテル内にあるショッピングモール『ミラクルマイルショッピング』にやってきました。ここは、1.2マイル(約2km)のモール内にカジュアルラインを中心とした店舗が約170店舗、レストラン15店、3つのシアターがあるベガスを代表するショッピングモールの一つで、特徴は何と言ってもモール内の天井が青空(疑似)になっていて、時間ごとに雷と嵐が来襲する仕掛けや噴水などもありました。



モール内を早足で回りましたが、特に魅力的な店はなかったものの、青空天井と各店舗の建物の美しさを満喫しつつ、お土産用の帽子を購入、あすかはストリートショップの店員に呼び止められ、ネイルデザインをしてもらったところ、『MOYOリョ』という商品の、その手軽さとデザインの良さにニコリ！

もちろんプレゼントしました(^!^)



ショーの時間まであと1時間、ショー会場パラジジオのお隣「コスモポリタン」でCoronaビール片手にスロットを回しながら時間を潰しました。

そして、いよいよベガス旅行で一番楽しみにしていたシルク・ドゥ・ソレイユの中でも現在一番人気でベガスのショーの中で最も入手困難とされているショー『O』の会場にやってきました。

チケットは、3週間前日本でJCBを通じて予約し、宿泊ホテルのBOXオフィスで受取済です♪



『O』は、フランス語の『水』に由来するそうで、水をテーマにしたアクトバットショーです。

世界初の舞台全体が巨大なプールになった『プールステージ』で始めから終わりまですべて水上、水中、空中で繰り広げられるショーは、元オリンピック選手がほとんどだそうです、水中から突然人が現れたり、水上をまるで歩いているような演出や空中ブランコから水中に次々と飛び降りたりと、ショーの内容も舞台設備も圧巻でした(^_^)/



約2時間のショーは、時間がアッという間に過ぎ、二人で約3万4千円という高額なチケット代でしたが世界最高峰のショーは、二人にとって生涯忘れない素敵な思い出となりました(*^_^*)

ショーの余韻に浸りながら、ホテルの外へ出るとベラッジオの夜の噴水ショーが丁度始まっていた。さらに感動♪ 噴水ショーですが、毎回違った曲に合わせて噴水の演出も様々です。20万円出せば好きな時間に好きな曲で演出してくれるそうで、パロポーズに使うこともあるとか…



時間は、まだ午後11時。ベガスの夜はこれからです！

アイスやピザを途中で食べながら、ド派手なストリップのネオンに目を奪われながら通りを北に散策しました。



続いて現れたのは、ミラージュホテルの『火山の噴火ショー』。ミラージュホテル玄関前の池の中に人工的に造られた火山の山頂付近が1時間に一回、時計の針が12を刺したときに大噴火が始まります。周囲の岩の割れ目からも溶岩流として火が流れ出るように演出されていて、ベガスホテルの無料ショーの先駆けになったアトラクションで、20年前に来た時も見ましたが、内容がさらにパワーアップしてました!(^^)!



火山の噴火ショーを見ている間、あすかはミラージュの前『カジノ/Royale』でスロットマシーンを回していました。今回、どこに行ってもあすかはスロットとの相性よく、地道に稼ぎました！

小腹が空いたので、カジノ内を散策していたら、『\$99¢ HOT DOG』のネオンを目にし、多くの人が並んでいた。成り行きで買ってみました。『FOOT LONG HOT DOG』、その名の通り靴の長さほどある巨大ホッددック、日本円で約200円。そのお味は… 最高でした☆彡



今日の最終目的地にたどり着きました！
『トレジャー・アイランドホテル』、20年前新婚旅行の時に泊まったホテルです。ミラージュホテルの隣で、以前は「海賊ショー」が無料アトラクションとして、大きな海賊船を再現して「サイレンス・オブ・TI」という名前で開催されていましたが、昨年10月で終了したそうで残念でした(ーωー)！しかし、20年の時を経て、二人で新婚旅行で泊まったホテルに来れたのが何よりです♪



トレジャー・アイランドホテルをあとに折り返し続いて目にしたのは、イタリアのヴェニスをテーマにしたホテル『ヴェネチアン』全室スイートルームの超豪華ホテルで隣接する姉妹ホテル『パラッツォ』と合わせた客室はなんと7000室、世界最大のホテルです。ヴェニスの鐘楼、リアルト橋、サンマルコ広場も再現されていて、ホテル内にはヴェネチアの街並みを模倣したショッピングセンター『グランド・キャナルショoppス』もあり必見(@^^)/~~~~



帰りは、ストリップのネオンの街並みをゆっくり楽しみながら歩いて帰りました。
ここで、またまたド派手なショoppを発見！『ハーレー・ダビッドソン・カフェ』です。ビル壁から巨大ハーレーが突き出しています(^^)
店内には、至るところ天井からハーレーが吊るされているそうで、本格的なアメリカンレストランそしてギフトショoppが併設されています。
Tシャツ1枚4000円は、手が出なかった(ー-;))



ベガス旅行も4日目に突入です。今日は、プレミアムアウトレットサウスに行くことにしました。隣のホテルエクスカリバーからストリップ最南端のホテルマンダレイベイまでトラムで行き、そこからタクシーに乗り継いで行きました。
宿泊ホテルモンテカルロ前の『エブリシング・コカコーラ』、『M&M's チョココ』のテーマパークショoppがお出迎え(*^^)v



今日のブランチは、お隣のホテルニューヨーク
ニューヨークのフードコートに決定！

ここのフードコートは、ニューヨークのパーク
アベニューの街をモチーフに、ハンバーガーショ
ップやピザ屋などの店が10店舗ほどあって、と
にかくパークアベニューの街並みが素晴しかった
(NYには行ったことはありませんが…)



パークアベニューの街並みを見ながら、フード
コートを一周りして、結局ハンバーガーを食べる
ことにしました。店の雰囲気が良かったので、『グ
ロードウェイ・バーガーBAR&グリル』という
店でチーズバーガーを2個注文、予想通りマック
3個分くらいあるボリュームのバーガーにフライ
ドポテトもフライヤーの網ごと出てきました。

ピクルスも1本まるごと(^-^)



食後NYNYに、この春オープンしたばかりの
『Hershey's chocolate World』ハーシー・チョコ
コレート・ワールドに行ってみました。アメリカ
国内6店舗目だそうです！



ハーシーチョコは、ユニークなフォルムが印象
的なキスチョコで有名なメーカーで、店内はキス
チョコの量り売りや、各種チョコ、チョコケーキ
などはもちろん、ハーシーのオリジナルグッズな
ども売られていて、見るだけでも楽しかったです。



ニューヨークNYからエクスカリバーに行く歩道橋から、見えたのは世界最大規模を誇るホテルMGM グランドです！ 総部屋数は何と5005室、同時に1万人以上が宿泊できます。あまりにも巨大過ぎて、「カジノで迷子になる」「フロントから客室まであまりにも遠すぎる」など度々苦情が出る程の巨大ホテル以前は、玄関が巨大ライオンになっていましたが不人気だったため、現在は金のブロンズ像がトレードマークになっています。



トラムの乗車駅『エクスカリバー』に到着！エクスカリバーは、中世ヨーロッパアーサー王をモチーフにしたホテルで、地下に広いゲームコーナーもあり宿泊料も安く、カジノの掛金も低く設定されていてファミリー向けのホテルです。夜は、お城がライトアップされ、さらにファンタジーの世界でした(^-^)



トラムに乗るとすぐに右手に巨大なスフィンクスが見えてきました。ベガスの象徴『ルクソール』です。エジプトをモチーフに実物の約80%のピラミッドを再現、ピラミッドの内部は1本も柱がなく30階まですべて吹き抜けになっていて、外壁に沿って斜めに昇降する世界初のエレベーター、ファラオや神々の像はカルナック神殿から発掘されたものを精巧にレプリカしたものを展示しているそうで、時間の都合でホテル内に入れませんでした。いつかは訪れてみたいテーマホテルの一つです！



トラムの終着駅ストリップ最南端のホテルマンダレイベイからタクシーで約15分、プレミアムアウトレットサウスに到着、ここでの目的は『アンダーアーマーズ』。セール品は定価の50%offなどもありましたが、サイズやカラーが合わずに断念、スリッパとウェアを20%offで購入、子ども達が好きなTimberlandのサンダルや、QuikSilverの水着、Poloシャツなど買い巻りました(^-^)

なかなか、掘り出し物があって良かったです。



3時間半程プレミアサウスでショッピングを楽しみ、再び、タクシー→トラムを乗り継ぎ同じルートでホテルに戻り、今回最後の戦利品、ソウルの空港で見た『COACH』のバックを探しにフォーコーナーに向かいました。

帰り際、ニューヨークNYの2Fからカジノを写真撮影することができました。ベガスではカジノ内の写真やビデオ撮影は固く禁止されていて、発見されるとその場で全データを消去されるそうで、気をつけなければなりませんm(_ _)m



COACHはベガスに5・6店舗ありますが、今日は「ライバルはNY五番街」という、ベガスで大人気の超高級グティックが揃うショッピングモール『フォーラムショップス』に行きました。いつものように、宿泊ホテルモンテカルロからベラッジオまでトラムで行きます。ベラッジオのホテル玄関を出ると、Parisホテルのライトアップされたエッフェル塔や凱旋門がお出迎え、噴水ショーも行われていてとにかく言葉が出ないほど感動、ベガスで一番お気に入りの光景です!(^^)!



フォーコーナーの中心Parisホテルから歩くこと約15分、やってきました『The Forum Shops』。超豪華な外観は後ほど紹介するとして、扉を開けるとローマの街をイメージしたという店内は芸術的で、大理石を豪華に散りばめた壮麗な柱やフレスコ画の装飾、らせん状のエスカレーター（三菱電機製）や空の色が変わる天井など目を奪われる美しい店内には、約160店舗の高級グティックが入っています。



とにかく店舗が多すぎて、他の店を観て回る時間がないため、目標をコーチだけに定め、店内を散策、案内板をもとに、らせんエスカレーターを2階に登り増築工事中のエリアに発見！店内に入ると、すぐにお目当てのバックが飾ってあって値段を聞くと\$200も安い♪即決で購入(^-^;)

店員の男性の父親が日本人ということでクク？日本語の会話を楽しむと、ホーム入れなどをサービスしてくれました！



ショッピングが終わって時計を見ると11時、お腹が空き過ぎて、フォーラムショッパの道路を挟んで前のカジノの2FにあるアメリカNO.1のステーキ店「OUT BACK」に行き、お馴染みのリヴァイスステーキをレアで注文、日本から持参のステーキソースをかけ14オンス(約400g)をペロリと平らげました(^_^)/

お隣の席にロスから来てたアメリカ人の家族がいたので日本のソースをプレゼントしたら大絶賛「Very delicious」の連発でした!(^^)!



食後は、ゆっくりとストリップ通りを歩いてホテルまで帰りました。右手に圧倒的な大きさでストリップの中心に聳え立つ古代ローマ帝国をイメージしたホテル「シーザーパレス」が見えました。ローマコロシウムでは、セリヌディオンのショーが開催されていて、時間があれば行ってみたかった(@_@) ちなみに、以前はベガスナンバーワンホテルの称号をえていて、ボクシングヘビー級タイトルマッチなども開催されていたそうです。



宿泊ホテルのモンテカルロに着いたのは、午前3時半、毎度のことながら眠らない街です。

ベガス最後の夜、20年を記念してホテルの部屋で記念撮影(*^_^*)



あっという間にベガスも最終日、部屋の窓から外を見ると、空はこの日ベガスに来て以来、初めて曇ってました。ベガスの昼はネオンがなくて淋しく午前中は、ほとんど人通りがありません。

10時にチェックアウト(カード式のルームキーは返さなくてよく、部屋を出るだけ)を済ませ、ホテルのコンシェルジュにスーツケースを預け、添乗員の迎えはPM9;20だったため、最後の日をいっぱい遊びました♪



今日の予定は、夕方までフォーコーナーにあるまだ行ってないショッピングモール2店に行き、昼食は『ネイサンズ』のホッドックを食べること、ホテルから直結の無料トラムでフォーコーナー中心のベラッジオまで行きそこから歩いてストリップを北に向かいました。

ベラッジオの中にあるチョコレート屋さん、何と天井から色んな種類のチョコレートが流れ落ちています!(^^)!



ベラッジオを出て左(北)に歩くと、お隣がシーザーパレス、そしてすぐ横に昨日コーチを買った「フォーラムショップス」が見えてきました。

入口の横は、ローマにある『トレビの泉』を再現しています。本物は、写真でしか見たことがありませんが、ほぼ完璧に再現しているそうです。



フォーラムショップスから火山の噴火ショーのあるミラージュホテルを抜け、トレジャーアイランドホテルに着きました。ここは、新婚旅行で泊まったホテルで、残念ながら海賊ショーは終わっていますが、ホテル前の人工海にはショーで使われていた船や港街を思わせるレストラン、噴水などは残されていました。

日差しが出てきて、暑くなってきたのでホテルの中を通り抜け涼ましてもらいました(^_-)



「The Cloud」と呼ばれる巨大な屋根が見えてきました。最初の目的地『ファッションショー』ショッピングモールです! このクラウド(雲のような存在)何と146mもあるそうです。ここは、macy'sやサックスなどデパートだけでも6軒が同時に入っています。名前の通り、中央広場の屋内ステージでは実際に本物のファッションショーが時折開催されているそうです。



まずは腹ごしらえ、3Fの1500席あるという巨大なフードコートに行き、『ネイサンズ』を発見！

ネイサンズは、ご存知、日本人の大喰いチャンピオン「小林尊」が全米ホッددッグの早食い選手権で当時の世界記録を2倍に塗り替え世界的なニュースになったのは有名な話、アメリカに来た限りは、是非とも食べたいと思っていました。お味は至って普通、値段は1本500円くらいで高い、『FOOT LONG HOT DOG』の方が断然おいしかった(^_^;)



ファッションショーは、あまりにも広過ぎるため、サッと見て店を出ると巨大な豪華ホテルが目の前に… 現在のベガスを代表する大型テーマホテルをクリエイトしたホテル王スティーブ・ウィンが手掛けた世界一豪華なホテル『ウィンラスベガス』です！総工費は3000億円くらいかかっているらしく、フェラーリのディーラーも入っています。とにかく、このホテルに宿泊すると、他のホテルが霞んで見えるため生涯で最後に泊まった方がよいとも言われるほどの究極ホテルです。



ウィンの美しさに目を奪われつつも、続いてはお隣ベネチアン、このホテルの中に最終目的地『グラランド・キャナル・ショップス』が入っています。

水の都ベニス为主题にした建物は、リアルト橋、実物大のサン・マルコ広場の鐘楼などベニスを代表する風景が再現されていて、館内も天井に優雅なフレスコ画が描かれていたり、木目細かい彫刻や大理石をふんだんに散りばめていて、本当に美しい光景は、ベガスに来てるのを忘れてしまいそうでした。



迷いそうというより迷ったくらい巨大なホテルの中、カジノを抜けて2Fに上がるとついに到着、『グラランド・キャナル・ショップス』、ベネチアの運河がホテル内に再現されていて、運河には gondola が浮かび船頭が「カンツォーネ」を高い声で歌ってくれます。運河沿いには、石畳が敷き詰められ高級ブティックがビッシリ、コーチの店を覗くと、日本人の店員が… 何と、久留米出身の方で「うなぎ」が食べたいと言っていました(^_^;)



PM4時近くまで、フォーコーナーを散策し、宿泊ホテルに戻り今度はホテル周辺を散策、ガラス張りの巨大コーラが一際目を引く『ワールドオヴコカコーラ』に入ってみました。ここは、コカコーラオフィシャルギフトショップで店内は、マグカップからTシャツ、バックから日用品など、すべてのCOCA・COLAグッズを取り扱っていて、その驚異的な品揃は圧巻です。自分用にTシャツと短パン、マウスパットをお土産にGETしました！



お隣はカラフルなチョコレートで日本でもお馴染みの『M & M's チョコレート』のテーマ館で、4階建の館内は、各種チョコレートはもちろんのこと、コカコーラ同様色んなM & M's のキャラクターグッズが売られていましたが、値段も結構高く気に入るものもなく、すぐに出ましたm(_ _)m

続いて、そのお隣『ハードロック・カフェ』でお決まりのゴ当地シャツをGETしました(^0^)



ホテル周辺のショップを散策し、最後の食事です。ステーキもちょっぴり食べたかったけど、結局フードコート内にあるアメリカの中華ファーストフード『PANADA・EXPRESS』に決定、定番の焼飯、焼そばにおかず品チョイスを平らげ、ベガス最後の食事は質素に(^_^)/

食後、もう少し時間があつたので、近くのMGMグランドホテルを覗いてみました。



MGMの西側入口から入ってすぐに、たくさんの人が列をつくっていたので、行ってみると、『レイン・フォレスト・カフェ』という、動物をテーマにしたレストランでした。店内は、レストランとグッズの店で、店内は本物そっくりの模造動物が壁や天井などあらゆる所から動き出して思わず童心に帰ってしまいます(^!^)



MGMは巨大で、カジノも半端なく最後の一攫千金を夢見てスロットマシンにチャレンジ、バニーガールにコロナビールをもらい最後の晚餐を楽しみましたが、結果はまたまた惨敗でした(@_@)

帰り際、ふと見るとたくさんのモニターが、競馬はもちろん、野球、バスケット、サッカー、アメフト、テニスありとあらゆる世界中のスポーツがここではジャンルとして賭けることができます。

テーマパークばかり見ていると、ここがジャンルの街であったことを忘れてしまいそうです。



いよいよ添乗員のお迎えの時間です((+_+))
モンテカルロホテルの前で最後のツーショット！



内容は充実していたものの、あっという間に過ぎてしまったラスベガスでの休日、車窓から小さくなっていくベガスのきらびやかなネオンを見ると淋しくなってきましたが、あすかと「またいつかこよう！」と誓い空港に無事到着、空港の待合室にもズラリとスロットマシンが並んでいる国は、世界中でもここだけでしょう！

<THE END>



(おまけ)

今回のベガス旅行、戦利品です！

お金も腹いっぱい使ったけど、最高の思い出ができました。思い出はお金では買えないので(^_^)/